



みんなをつなげる福祉のまちづくり



みんな老若男女声かけ合って地域の人 安心して暮らせるまちづくり



編集：住吉地区福祉懇談会
新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
発行：平成26年3月
新発田市
〒957-8686 新発田市中央町4丁目10番4号
社会福祉法人新発田市社会福祉協議会
〒957-0054 新発田市本町4丁目16番83号

住吉地区福祉懇談会

新発田市・社会福祉法人新発田市社会福祉協議会

ご あ い さ つ



住吉地区は、住吉小学校と隣接する住吉コミュニティセンターが地域の中心部にあり、地域の防災や子ども達の安全そして地域住民の交流について、みんなで考え活動している町であります。

この度、新発田市ならびに新発田市社会福祉協議会のご指導のもと、住吉地区の福祉に関わる問題や課題、そしてあるべき福祉の目標や希望といったことについて、計4回にわたる懇談会を開催しました。出席者は、住吉地区12町内会長をはじめ、子ども会や老人クラブ、母親クラブ等の代表者、民生委員児童委員、新発田中央地域包括支援センターそして新発田市と社会福祉協議会の方達が加わり、グループ討議を中心とした検討を積み重ねました。

どの町内も少子高齢化に対応した問題・課題が山積しておりますが、地域住民の力で問題を解決し、課題を乗り越えていく努力が、先ず一番大切であります。しかし、どうしても行政にお願いする問題、課題も多くありますので、住吉地区12町内会が一致結束して関係する行政の部門の方々をお願いしていかねばなりません。

懇談会を始める当初においては、福祉という意味についても漠然としていましたが、人間一人ひとり生きる喜びを実現し、その喜びを地域の力として結集していくことなんだなと思い始めました。

平成25年度の福祉懇談会は終わりましたが、福祉の維持向上のためには、日々の活動が欠かせませんので、今後とも機会を捉え、この度の懇談会を振り返り、更なる前進のための努力を積み重ねてまいります。

平成26年3月

住吉地区自治会連合会 会長 三 宮 静 雄

目 次

1	計画の概要	
	(1) 住吉地区福祉活動計画とは	1
	(2) 住吉地区福祉活動計画の目的	1
	(3) 住吉地区福祉活動計画の推進に向けて	1
	(4) 住吉地区福祉活動計画づくりの意義	2
2	現状と課題	
	住吉地区福祉懇談会で見てきた現状と課題	3
3	福祉活動計画	
	(1) 基本理念	4
	(2) 基本目標	4
	(3) 計画の実現に向けての取り組み例	5
4	策定方法	
	(1) 住吉地区福祉活動計画策定経過	7
	(2) 住吉地区福祉活動計画策定団体等	8
	(3) ワークショップの様子	9
	(4) 住吉地区福祉活懇談会で出された意見	10
5	住吉地区の概要	
	(1) 位置及び特徴	16
	(2) 住吉地区の人口と世帯の状況	17
	(3) 生活関連施設	18

参考資料

新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念と体系	19
------------------------	----

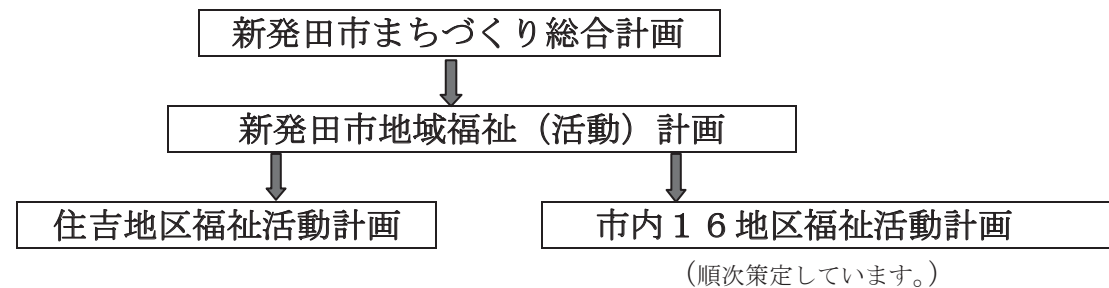
1 計画の概要

(1) 住吉地区福祉活動計画とは

少子高齢化社会を迎え、社会全般が大きく変化している中、行政への市民要望は年々増大していますが、一人ひとりに適したきめ細かなサービスを行政だけの力で提供することは困難になっています。このため、市民一人ひとりの自立した生活をめざし、地域での福祉を「支え合い」によるシステムという新たな視点で再構築し、維持していく仕組みをつくりあげることが重要となっています。

新発田市は「まちづくり総合計画」の中で、あるべき将来都市像を「住みよいまち日本一 健康田園文化都市、しばた」としています。その基本理念の下に、新発田市地域福祉(活動)計画は、「しばたに住んで良かった。」と市民が言えるよう、地域において市民や福祉関係者、社会福祉協議会、行政が相互に知恵を出し、力を合わせながら、高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域で安心して生活を送ることができる“共生社会”の実現を目指すものです。

「住吉地区福祉活動計画」は、地域の中で問題となっていること、困っていることなどを「地域のみんなの問題」として捉え、話し合い、取り組んでいくための指針であり、「新発田市まちづくり総合計画」、「新発田市地域福祉(活動)計画」に基づいた計画です。



※地域福祉とは、「適切な地域を単位として」「地域住民が主体となり」「地域課題の解決に向けて」「自治会と行政なども含め」「お互いに知恵を出し合い」「支え合っていく」ことです。

(2) 住吉地区福祉活動計画の目的

住吉地区に対する想いを語り合うことを通して、「地域の現状や課題」、「地域でできること」、「自分でできること」、「こうなったらいい」などを一緒に考え住民主体の地域福祉づくりを行政、社会福祉協議会、関係機関などと連携して進めていきます。

高齢者や障がい者など支援が必要な市民が地域(住吉地区)で安心して生活できる“共生社会”の実現をみんなで目指します。

(3) 住吉地区福祉活動計画の推進に向けて

計画づくりの過程を通じ、みんなで同じ方向を向いて協働していくために、地域の課題や目標を共有しました。その上で、住吉地区の中・長期的な目標として位置づけ、地域の方々と行政や社会福祉協議会などが連携して取組を進めていくことが重要です。

(4) 住吉地区福祉活動計画づくりの意義

住吉地区福祉活動計画を地域のみんなで作ることで

- ① 地域の課題や目標を関係者で共有し、同じ方向を向いて協働することができる。
- ② 計画を公表することで、地域の福祉活動について、広く地域住民の理解と協力が得られる。
- ③ 中長期的な見通しを持って、段階的・継続的に取り組んでいくことができる。
- ④ 活動の優先順位や重点がはっきりする。
- ⑤ 活動がうまく展開されてきたか振り返り、次の課題を明らかにすることができる。
- ⑥ 計画づくりの過程で人が育ち、地域の関係者の連帯も強くなる。

みんなで作る住吉地区福祉活動計画



2 現状と課題

住吉地区福祉懇談会で見てきた現状と課題

住吉地区に住んでいる子どもから高齢者まで、すべての住民が地域においていきいきとした生活を送ることはみんなの願いです。

この願い（目的）に向けて、地域住民や行政、社会福祉協議会、民間の福祉サービス事業者等が連携、協働しながら **いつまでも住み続けたい笑顔あふれる住吉地区**にするため、支え合いながら進める「住吉地区福祉活動計画」を策定しました。

計画策定の具体的作業として、平成25年9月～平成26年2月まで4回にわたり福祉懇談会を開催し、地域の現状や福祉に関わる様々な課題について、話し合いを行いまとめました。

(1) 地域活動について

- ①古くから住んでいる人と新興住宅地との交流が少ない
- ②若い世代は地域活動になかなか出て来ない
- ③地域の茶の間やサロンがあることがわからない

(2) マナー・モラルについて

- ①ゴミ捨てのマナーが悪い
- ②犬のフンを片づけられない
- ③自転車運転マナーが悪い

(3) 防犯・防災について

- ①防犯…自転車の盗難が多い、高齢者を狙った詐欺が多い
共働きで日中不在の家が多い
- ②防災…防災意識が低い、訓練が十分でない

(4) 高齢化の進展について

- ①一人暮らし高齢者宅の除雪が困る
- ②高齢者ばかりの地域がある

(5) 子どもに関することについて

- ①子どもの遊ぶところが少ない

3 福祉活動計画

◆ ◇ 住吉地区福祉活動計画 ◇ ◆

(1) 基本理念（スローガン）

住吉地区に住む住民一人ひとりが地域活動に積極的にに関わり、お互いが個人として尊重しあい、生きがいや充実感をもちながらその人らしい生活ができることを目指していくことが大切です。こうしたことから、次のとおり計画の基本理念を定めました。

みんな
老若男女 声かけ合って 地域の人が
安心して暮らせるまちづくり



(2) 基本目標

福祉懇談会で話し合われた地域の現状及び課題に基づき、計画の基本目標を次のとおりとしました。

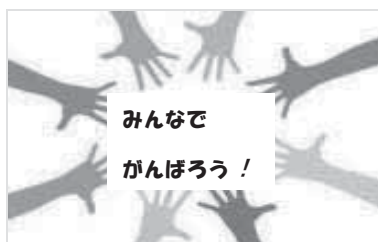
基本目標1	声かけ合ってまず参加！みんなで広げる地域活動
基本目標2	あいさつの輪を広げ、みんなでマナー向上
基本目標3	地域で見守る安心・安全の地域づくり
基本目標4	みんなで作ろう世代間交流の場
基本目標5	困った時の助け合い。地域で取り組む支え合いの仕組み

(3) 計画の実現に向けての取り組み例

計画の実現に向けて

福祉懇談会では、**自分たちでどんなことがで**

■ **目標達成の具体的な取組の例** → **きるのか** アイデアを出し合いました。



◆基本目標 = こんな地域であつたらいいな
 ◆実施項目 = 私たちにできること(取組の例)

基本目標 1 声かけ合ってまず参加！みんなで広げる地域活動

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・子どもに関する問題や課題を話し合える場をつくらう	1	・町内会活動にいつでも参加して協力し、楽しさを周りに伝える。また内容を見直しながら活動しない方々が参加したくなるような活動を考えていく
2	・町内会活動が楽しいと思える地域をつくっていかう (地域の拠点コミュニティセンターを多くの人が利用、活用し、つながりを深めていかう)	2	・12町内会会議が発足してから各町内会とのつながりができた。更なるつながりができるよう、話し合いの持ち方を考えていく

基本目標 2 あいさつの輪を広げ、みんなでマナー向上

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・近所同士、さらには町内の住人同士が気軽にあいさつを交わせる付き合いに、まずは隣人同士から	1	・一声運動、あいさつ運動・・・子どもも大人も、近所の方々をはじめ道で会う方にもあいさつをしていく
2	・子どもたちと大人が明るくあいさつできるまちづくりをする	2	・クリーン作戦・・・道路のゴミ拾いやゴミステーションの整理
3	・マナー(交通マナー、犬の散歩、ゴミ捨てなど)を向上し、安心してクリーンな地域を目指す	3	・マナー向上運動・・・マナーは大人が手本を見せる(犬の散歩、交通ルール)

基本目標 3 地域で見守る安心・安全の地域づくり

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・町内(丁目)ごとの見守り隊の組織化を進めよう	1	・一人暮らし高齢者の見守り活動(例えばパソコンのSKYPE(スカイプ)を活用して見守り活動をする ・向こう三軒両隣の安否確認(隣近所への声かけ、民生委員の手助けをする)
2	・不審者情報など、みんなで共有しながら安心して暮らせる治安の良い地域を目指そう	2	・不審者対策・・・12町内会長会議で話し合う。学校内でも生徒に情報提供する ・防護団や自主防災・防災組織については会員を増やして活動強化していく ・犬の散歩をしている人に防犯のタスキをかけてもらう(ワンワンパトロール)

基本目標 4 みんなでつくろう世代間交流の場

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・子どもと高齢者が交流できる機会を多くつくっていかう	1	・子ども会の行事に高齢者も参加する機会をつくる(子どもが集まりやすいテーマを入れて行事を催し、その家族も視野に入れる)
2	・日中時間のある高齢者が気軽に集まれる場所をつくっていかう	2	・今ある場所の活用で、地域の茶の間やサロンなど地域の子どもから高齢者が交流できる場所を考える

基本目標 5 困った時の助け合い。地域で取り組む支え合いの仕組み

目 標		実施項目 (取組の例)	
1	・ちょっと困った時に気軽にお願いできる地域の関係性をつくろう	1	・助けを求めた方を見捨てない。そっとしておいて欲しい人はそっとしておくさりげない見守りをしていく
2	・高齢者等が自分の得意分野を活かした地域のボランティアの仕組みをつくろう	2	・誰にでもできる簡単なボランティアから各種のスキルや意欲を持った方々のボランティアなど困っている方々に対応できるような地域ボランティアの仕組みを考える

4 策定方法

(1) 住吉地区福祉活動計画策定経過

年月日	会議等	内容
平成25年7月3日	打合せ (住吉コミュニティセンター)	・自治会3役に概要説明 (参加者8名)
平成25年8月21日	打合せ (住吉コミュニティセンター)	・住吉地区福祉活動計画について 説明と計画策定の進め方について (参加者3名)
平成25年8月22日	打合せ (住吉コミュニティセンター)	・第1回住吉地区福祉懇談会について 事前打ち合わせ (参加者8名)
平成25年9月9日	第1回住吉地区福祉懇談会 (住吉コミュニティセンター)	・「地域福祉について」研修会 講師: 敬和学園大学 趙教授 ・懇親会 (参加者37名)
平成25年10月29日	打合せ (住吉コミュニティセンター)	・第2回住吉地区福祉懇談会について 事前打合せ (参加者6名)
平成25年11月18日	第2回住吉地区福祉懇談会 (住吉コミュニティセンター)	・グループワーク1 ① 私たちに地域のいいところ ② 身近なところで困っていること まとめと発表 (参加者37名)
平成25年12月17日	第3回住吉地区福祉懇談会 (隣保館)	・グループワーク2 ③ こんな地域であつたらいいな ④ 私たちにできること まとめと発表 (参加者33名)
平成26年1月21日	打合せ (住吉コミュニティセンター)	・第4回住吉地区福祉懇談会について 事前打合せ (参加者5名)
平成26年2月17日	第4回住吉地区福祉懇談会 (住吉コミュニティセンター)	・グループワーク3 まとめとスローガン ・懇親会 (参加者37名)
平成26年3月6日	打合せ (住吉コミュニティセンター)	・住吉地区福祉活動計画(案) 修正・確認 (参加者6名)
平成26年3月31日		・住吉地区福祉活動計画完成

(2) 住吉地区福祉活動計画策定団体等

この住吉地区福祉活動計画は、自治会連合会を中心に民生委員児童委員、保健自治会、子ども会、老人クラブ、住吉小学校区母親クラブ、住吉小学校区青少年健全育成協議会、新発田中央地域包括支援センターなどの人達が福祉懇談会を開催し、地域の現状及び課題を把握して、基本目標、具体的な取組事例として策定しました。

✚ 住吉地区自治会連合会(12町内会)

1	御幸町1丁目町内会
2	御幸町2の1町内会
3	御幸町2丁目町内会
4	住吉町2丁目町内会
5	住吉町3区町内会
6	富塚町1.2丁目町内会
7	富塚町中町内会
8	富塚町南町内会
9	弓越町内会
10	富塚町3丁目町内会
11	下木戸町内会
12	赤沼町内会

✚ 民生委員児童委員

✚ 保健自治会

✚ 子ども会

✚ 老人クラブ

✚ 住吉小学校区母親クラブ

✚ 住吉小学校区青少年健全育成協議会

✚ 新発田中央地域包括支援センター

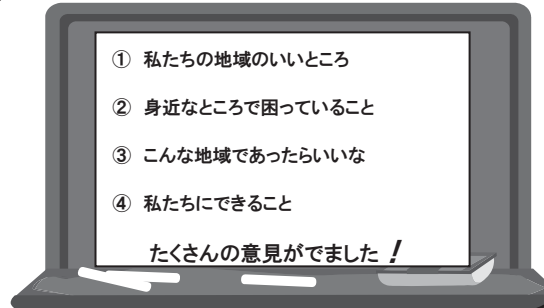
(3) ワークショップの様子



いっぱいいいところ
あるねえ～



私たちができることは、なんだろうね。
あいさつならすぐにできるよ。



- ① 私たちの地域のいいところ
- ② 身近なところで困っていること
- ③ こんな地域であつたらいいな
- ④ 私たちにできること

たくさんの意見ができました！

～ 和気あいあい 問題意識をもった ワークショップを行いました！ ～



そういう考えもあるんだね。
なかなかいいねえ～



グループでまとめ、
発表しました



町内ごとに連携
し防災、防犯対
策が必要だね

私たちのグループはこ
んなにたくさんの意見
ができました。

ワンワンパトロールで
防犯対策ができます



(4) 住吉地区福祉懇談会で出された意見

たくさんの意見が
出されました。

1 私たちの地域のいいところ

- ・イオンがあって便利。
- ・イオン、ウオロクなど大型店が近くにあり買い物が楽。
- ・ウオロク、ジャスコなど、買い物するところが多い。
- ・近くに大型スーパーやコンビニ、ウオロクなど、沢山あり便利である。
- ・スーパーウオロクがあり、買い物しやすい。
- ・大きなデパートが出来て買い物ができる。
- ・病院が多い。
- ・片桐医院、たかはし脳外科、関耳鼻科、近くに病院が多々あり便利。
- ・近年、繁華になり、新発田で一番賑やかな地区になってきた。
- ・コミュニティバス（駅）があり、交通が便利。
- ・道路が広くて歩きやすい。
- ・西新発田駅の便がよくなり、新発田駅より何をするのも楽しい。
- ・駅前の商業地域が楽しい。
- ・小学校、幼稚園、保育園がある。
- ・子供が多い。
- ・デイサービスなど福祉施設が充実。
- ・民生委員さんが頼もしい。
- ・御幸町2丁目では町内でのお祭り、バーベキュー大会などの催し物が多く地域の交流にいい。
- ・只今十二町内会ではあまり多くない地区でまとまりのいい地区だと思っている。
- ・コミュニティ施設が多い。
- ・障害者の施設が多い。
- ・食物が豊富。
- ・私たちの良いところ、スーパーが近くにあり買い物が便利。
- ・大型店舗が近くにあり、買い物に困ることがない。

- ・生活環境が良い。
- ・国道が近い。
- ・駅が近い。
- ・銀行が近い。
- ・スーパーが近い。
- ・医院が近い。
- ・学校が近い。
- ・商業施設が多く人の行き来が多い。
- ・学校が近い。
- ・駅が近い。
- ・駅がある。
- ・海も山も30分くらいで行ける。
- ・歩いていける範囲に何でもある。便利！
- ・医者、駅が近くにあり、立地条件がよい。
- ・近くに病院、大型店、駅などがあり過ごしやすい地域である。
- ・お店が近い。
- ・環境が整っていて暮らしやすい。
- ・交通（バス）が走っている。
- ・歩いて用事が足せる。
- ・バイパス、高速が近い。
- ・新々バイパスから南バイパス→290号と道路アクセス状態が良い。
- ・家が沢山建っている。
- ・米と水が旨い。
- ・どこまでも平ら、自転車で行きやすい。
- ・災害が少ない。
- ・犯罪がなく、治安が良い。
- ・民生委員として高齢者宅を訪問しても寝たきりとか心配を抱えている人が少なく、明るい人が多い。
- ・子供が多くて活気がある。
- ・子供が多く、子供が元気。
- ・民生委員とのつながりを持っている社協、支援センター、高齢福祉課など対応が早い。

- ・昔は三宣町と言われていた。雪よし、月よし、女よしが原点と言われている。
- ・歴史がある城下町である。
- ・学校が近い病院が近くにある。
- ・近くに医者が多い。
- ・医療機関が沢山ある。
- ・医者が近い
- ・町内会費が安い。
- ・募金袋が回ってこない。
- ・向こう三軒両隣が残っている。
- ・地域のお祭りが受け継がれている。
- ・老人クラブの活動が盛ん。
- ・コミュニティ活動が盛ん。
- ・防災訓練が楽しそう。
- ・サークル活動が盛んな地域である。
- ・地域の結びつきが残っている。
- ・のどかな自然環境。
- ・交通の便がいい。
- ・買い物ができる場所が多い。
- ・スーパーウオロク、イオンがあり便利。
- ・買い物、医療の便がよい。
- ・お医者さんも適当にある。
- ・近所のつながりがある。たとえば、雨が降ると近所の人を取り込んでくれる。
- ・昔から住んでいる人が多いので、近所付き合いが出来ていて声掛けなどが出来ている。
- ・近所の助け合い心を持った人が多い。
- ・毎朝登校時に地域の方の声掛け、見守りなどがあって助かっています。
- ・大人たちが増えており、将来性が豊かだ。
- ・これから子供たちが増えていくと思われる。
- ・若い人も増えた。
- ・親、子、共に同世代の人が多く。
- ・大きな事件、災害のない町。
- ・買い物が便利。
- ・買い物が便利（イオン、ウオロク、原信など）。
- ・商店が多くなって便利になった、西新発田駅の近くの人たち あなた方はよいですね。

- ・スーパーやコンビニに恵まれており生活がしやすい、交通の便がよい。
- ・三区町内会で運動会を行っている、夏休み子供キャンプ、花火大会を行っている。
- ・三区町内会で運動会が毎年やっており、参加者が親子ともに多い。
- ・子供会で金魚台輪の運行を行っている。
- ・子供会で夏休みキャンプ（住小体育館）グラウンドで花火大会。
- ・母親クラブの会員の中には読み聞かせ、工作、遊技、手芸など技術を持っている人が多く活動も大きな助けとなっていて行事を円滑にしている。
- ・母親クラブの会員は子育てが終わっている世代にもかかわらず子供に関する活動に熱心で協力的である。
- ・町内納涼会において参加者が多く地域活動に理解がある。参加者200名。
- ・住吉コミセンの利用状況がよい（サークル活動が活発）。
- ・老人クラブ月1回集まる（酒も飲む）。
- ・交通の便がよい。
- ・JRの駅があり、バイパス、高速など利便性が良い。
- ・道路が良くなった。
- ・子供が多い。
- ・住宅増加で子供が多くなる。
- ・若い世代が多い。
- ・隣近所とのコミュニケーションもまあまあである。
- ・隣人との会話が深い。
- ・住小児童の挨拶がよくなった。

2 身近なところで困っていること

- ・老人クラブは年金暮らしの人が主体のため、活動資金不足を心配している。何か良い知恵はないか。
- ・老人クラブへの参加者が少ない。
- ・町内での行事等に参加する人が限られている。
- ・町内会の役員が決まらない。
- ・高齢者と話し合いが出来ない。

- ・地域のお茶の間の利用など、気軽に誰でも参加出来るような場所があればよい。
- ・身近な人だけだと集まりにくい。
- ・サロン、地域の茶の間があることがわからない。
- ・大型店が多くあると人の出入りが多くうるさい。
- ・共働きで日中不在の家が多い。
- ・大型店の抜け道になっている。
- ・自転車がなくて事故が起きそう。
- ・新しい道路等わかりにくい。
- ・西新発田駅から降りてもタクシーの乗り場が現在ない。
- ・常駐の乗り場がほしい。
- ・高齢化が進んでいる。御幸町1丁目。
- ・住吉3区、新しい転入多い。顔がわからない。
- ・インターホンの家が増えている。
- ・電車、バスの本数が少ない。
- ・大型店が増え、近くのお店が無くなって、買い物が不便。
- ・車社会になって、車のない世帯には不便。
- ・若い人が新しい土地に移り、老人が多く残るような状況になっている。
- ・高齢者ばかりの地域がある。
- ・車の運転マナーが良くない。
- ・傘さし自転車が多い。
- ・犬のフンを片付けない。
- ・女子高生のスカートが短い。
- ・長靴を履かない。
- ・コートを着ない。（無防備）
- ・民生委員として訪問すると防犯上の問題を複数人から言われたので、町内の防災組織は防犯を兼ねていけばいいと思う。
- ・自転車の盗難が多い。
- ・詐欺を目的とした店が時々来て騙された老人も多い。
- ・冬、除雪車が来ると、後片付けが大変。
- ・雪の片付けが大変。
- ・除雪に困る。
- ・除雪をした雪の捨て場所が少ない。

- ・世帯数が多いぶん困りごとも多い。
- ・世話焼きがいない。
- ・かみなり親父がいない。
- ・隣近所と不仲な家が多い。
- ・古くから住んでいる人と新興住宅地の人との交流が少ない。
- ・隣近所との関わりが少なくなった。
- ・町内会活動に協力的でない人が多い。（若い人）
- ・自分さえ良ければ他人の心配をしない。
- ・助け合うつもり、協力して事に当たることを嫌う。
- ・町内で学区が違う。
- ・メダカがいなくなった。
- ・子供の遊ぶところが少ない。
- ・ほたるがいなくなった。
- ・カラスが増えた。
- ・住民がどんどん増え、世帯数にムラがある。今この時期に再編成する必要があるのではないか。
- ・新潟市と比較すると、図書館が貧弱である。
- ・新しい町名はわかりづらい（旧町名のほうが場所を特定できる）
- ・集合場がないのでコミセンまで歩いていかなければならず、車を運転しない者には少し不都合に感じる。
- ・集会所がない。
- ・南バイパス近辺の田んぼにゴミ、コンビニゴミ？高校生？
- ・ゴミステーションに違法ゴミを捨てていく人がいる。
- ・老若男女の意識感覚が一致せず地域活動に結びつかない。
- ・町内会役員のなり手が少ない。
- ・少子高齢化（伝統行事の存続）
- ・若い人が自分の家庭を守るのに精一杯で地域活動になかなか出てこない。
- ・やはり「俺は、私は町内会では一切関係ない」という定着もぼつりぼつりとある。
- ・児童クラブを民営化してサービスを良くしていただきたい。（18時半に終わるので）

- ・学校から距離があり、冬場心配。
- ・食物アレルギーへの対応（給食など。）
- ・覆面パトカーを見かけることが多くなった。運転注意。
- ・春から秋まで夜バイクがうるさい（南バイパス）。
- ・交通量が多い。
- ・高齢者、買い物に行くのが大変。
- ・老人クラブに入る方が少ない。
- ・除雪、特に1人暮らしの高齢者宅。
- ・犬のフンを処理しない人がいる。
- ・交通の便が良くなるのに連れ、安全安心が減少している。
- ・アパート来訪者の長時間の常駐車、特に冬は除雪に支障をきたす。
- ・ゴミを出した後の整理が特定の人で苦情が私の所へ来る。
- ・ゴミ出しが町内全体は（5丁目）あまり良くない。
- ・町内でゴミ置き場を作りたいが、場所を貸してくれる人がいない。
- ・ゴミ出しルールを守らない人がいる（早出しなど）
- ・ゴミステーションに前の日の夜から出している。
- ・ゴミ箱の補助を市は全額の半分を補助してほしい。
- ・高校生の通学マナーが悪い。
- ・利便性が良くなって地価が上がり、年金暮らしは困る。非行もよくある。
- ・西新発田駅の自転車置き場の整理（マナー）が良くない。
- ・町内で困っていること、共の農業用水が今不要になって、排水、草ボーボーで苦情が来る。
- ・市の予算の関係で草刈りをなかなかやってくれない。
- ・町内の公園（2カ所）設備が進まない。
- ・住小のグラウンドの排水をやってもらいたい。
- ・住宅が増加し、小さい子供たちが多くなるが、子供たちの施設が足らなくなる。小学校、児童クラブ等。
- ・団地世代が若いため、災害（防災等）の意識が低い。

- ・防災訓練が行われていないため、いざというときのような行動をとればいいかわからない（住吉3区町内会）。
- ・年金の減額で困っている。
- ・医療費が上がって困る。
- ・老人会活動が少ない。
- ・町内行事に若い世代の参加が少ない。
- ・母親クラブでは創設してから22年経過しており、高齢化となっている。後継者がいなくて困っている。
- ・若い人のボランティア精神が乏しく団体活動の協力が得にくい。後継者問題も影響している。
- ・新発田祭りに子供御輿がない。
- ・住吉3区町内会では2丁目から5丁目までと世帯数が多すぎて一部の人は一生涯懸命だけれど人任せな人も多い（1, 200世帯）。
- ・老人クラブに入ってくれない。

3 こんな地域であつたらいいな

- ・小売店や配達してくれる店が多いといい。
- ・車を運転できない人を行きたいところに連れて行ってくれるボランティア。
- ・一人暮らしの世帯が少ない方がいい。
- ・コミュニティセンターを多くの人が利用できる。
- ・子どもと高齢者が交流できる場が多いといい。
- ・子ども世代と親世代と祖父母世代が交流できる。
- ・大人や子供が集まる場。
- ・大人や子どもと一緒に生活する場。
- ・子どもが集まる場。
- ・町内会で子供向けの行事イベント、わたあめ
- ・気楽に行けるカフェが欲しい。
- ・高齢者も活躍できる場のある地域。
- ・リーダーが欲しい。
- ・ちょっと困った時に気軽にお願いできる関係の地域。
- ・和や絆を大切にしていく地域。
- ・近所のせがれに意見のできる地域。
- ・自分の得意なことが人の役にたつ。

- ・誘い合える人間関係のある地域。
- ・あいさつができる。
- ・町内の人たちがあいさつをし合うような明るい町内。
- ・世代を超えて交流できる場所。
- ・子どもたち（小学生）のスポーツ関係夏休みラジオ体操後にドッジボールとかその他レクリエーションを行う。
- ・気軽に声をかけられる関係近所同士、さらには町内の住人同士が気軽にあいさつを交わせるつきあいに。まず隣人同士。
- ・住んでいる人たち同士が仲良く顔が見える声をかけ合える地域。
- ・子どもに関する問題が話し合える場があるのがいい。
- ・子どもの遊ぶ声笑う声があふれている地域。
- ・子どもが多く外で遊べる地域。
- ・子どもたちの遊んでいる声が聞こえるような町内。
- ・町内でまとまってイベントをやりたい。
- ・炊き出しして人を外に出す。
- ・自動車やスキー用具やベビー用品を使いまわしできるような地域づくり（共助）。
- ・町内会活動が楽しいと思える地域。
- ・いろんな会があっても知らない人が多い（ふれあいサロン、老人会など）宣伝をして沢山参加できるようになるといい。
- ・自分の得意分野を登録しておく仕事として成り立つような仕組みを作れたらいいと思う。（NHKクローズアップ現代）
- ・老人力の活用・・・24時間地域に目配せ、気配せできて助言もできる各種のスキルを活用したい。
- ・地域内企業との関わりを持ったコミュニティの構築。水回り修繕、電気修繕、建具修繕等をお願いする。
- ・下町交番の方に訪問回数を増やしてほしい
- ・移動に困らない地域。

- ・なんでも意見を交わせる雰囲気を作る。
- ・孤独死のない地域。
- ・ちょっとした用事を頼める人がいる。
- ・町内会の活動を理解し協力する姿勢。
- ・隣近所の除雪をしてくれる人がいる。
- ・隣近所が困っているときに助け合える地域。
- ・地域ボランティアがいて困った時にお願ひできる。
- ・交通マナーがいい、安心して道を歩ける地域（車も自転車も気を付けて）。
- ・犬の散歩のマナーを守る。
- ・マナーは大人が手本を見せる。
- ・ゴミが落ちていない。
- ・町内の役員をしている人が集まって町内をよくしていこうという相談ができる
- ・各町内ごとの連携、防災、防犯声掛けをする。
- ・12町内会長会議が発足してから各町内会とのつながりができた。更なるつながりができるような地域。
- ・最近コミュニティを中心とした活動が生まれた。今後も続くように。
- ・子どもたちと大人が明るくあいさつのできるまちづくりをする。
- ・通り一遍の付き合いではなく、気楽に話ができる町を。
- ・子どもたちが大人になっても地元で働くことができるような地域であつてほしい。
- ・見守り隊の強化、町内（丁目）ともに組織化。
- ・仕事が終わって帰るまで近所の家の人が見てくれる。
- ・安心して暮らせる治安の良い町。
- ・不審者情報については、各町内会のみでなく学校内でも生徒に情報提供する。

4 私たちにできること

- ・つけものとかみそとか、高齢者の作ったもの販売所。
- ・年寄の方のお宝（できること）を持ち寄って販売

- することができたらいい。
- 移動式カフェを開く。
- 地域の茶の間、気軽に使えるサロン・カフェ。
- 日中ひまな高齢者が気軽に集まれる場所が欲しい。
- 意欲のある方が活躍できる場や収入を確保する。
- 情報をわかりやすくPRし、お誘いしながら行事に参加してもらう。
- 高齢者ができるような簡単なボランティアを考える。
- 敬老会に地域の子供も参加する。
- 地域の子ども～高齢者が交流できる場所 今ある場所の活用。
- 子供会の行事に高齢者も参加する。
- 子どもが集まるイベントをする。
- 母親クラブに頼む。
- 子どもが集まりやすいテーマを入れて行事を催し、その家族も参加の視野に入れる。
- 一声かけ合うと子供はよく挨拶するし、話ののってくる。
- 隣近所への声掛け、民生委員の助けをしたいと考えている。
- アルビの選手に家を貸す。賄いつきゲストハウスで旅人を泊める。
- 街中 Condominium でお客を呼ぶ。
- 若手芸人の発表の場にする。
- 町内会の役員がなかなか手がないが、ある程度は順番でやってもらうのがよいのでは。
- 人の良い所をほめる。
- 縁を大切にする。
- 一人暮らし高齢者にパソコンでSKYPE（スカイプ）を設定する。
- 囲碁を知らない人に教えてあげる。
- 地域の高齢者に昔あったことを聞いて子どもに教える。
- 町内の活動に参加して様子や楽しさを周りに伝える。
- 助けを求めた方を見捨てない。そっとしておいて欲しい方はそっとしておく。

- 近所の困った人に目を配る。
- 高齢者宅の除雪。
- 困ったときは助けを求める。自分からの関係づくり。
- 道路に落ちているゴミを拾う。
- ゴミ拾い大会。
- ゴミステーションの整理。
- 声をかけること。
- 気軽にあいさつする。
- 子どもに積極的に声をかける。
- 近所の方々をはじめ道で会う方にもあいさつをしていく。
- 子どもの育成の行事を取り入れて子どもが喜ぶ顔がみたい。
- 楽しいイベントをする。
- 子どもから高齢者まで楽しめるイベント。
- いつでも町内行事に参加して協力する。
- 子どもが少なくなっているが、小中学校の入学、卒業のお祝い会を開催する。
- お茶のみグループを作る。そして拡大する。
- 町内会活動に参加していない方々が参加したくなるような活動をしていく（多少の見直しが必要かも）。
- 12 町内会会議で不審者対策を話し合う。
- 向こう三軒両隣（安否確認）
- 仲良しクラブをつくる クラブの内容は自由。
- 防護団については会員を増やして巡視強化を図る。
- 犬の散歩をしている人にタスキをかけてもらう。
- 良い所も悪い所も前回出しているので各丁目ごとにアンケートをとってみてはどうか。
- 大人も子供もあいさつしあう。
- 近所の人とあいさつし交流をもつ。
- 気軽に声をかけあう。
- あいさつする。

5 住吉地区の概要

(1) 位置及び特徴



◆ 水と緑の豊かな自然環境が残る地区

本地区の南側は水田地帯となっており、豊かな田園風景がJR白新線を越えて広がっています。また、地区内を赤沼川などの河川が流れており、夏の夕べはホタルが舞い、秋には赤トンボが郷愁を誘う水と緑の豊かな自然があります。

◆ 計画的に整備された住宅地と再整備が必要なところ

居住環境としては民間宅地開発などによる計画的に整備された良好な住宅地がある一方、住宅が密集していて再整備が必要となっているところがあります。

◆ 西新発田駅や南バイパスなど交通の便に恵まれている

西新発田駅の利用頻度は高くなっています。また、地区の北側には新発田停車場線、南側には南バイパスが通っており、道路のネットワークも充実しています。

- JR 西新発田駅
- あやめバス（新潟交通観光バス株）

◆ 美化修景など地域ボランティア活動が活発

「花いっぱい運動」や「ふれあい福祉のまちづくり」などのボランティア活動やみんなが楽しめるお祭りなどのイベント活動など地域コミュニティ活動が活発です。

また、地域防災活動に対して意識が高く積極的に活動しています。

(2) 住吉地区の人口と世帯の状況（国勢調査による）

国勢調査

(単位：人)

	平成17年				平成22年				増減数			
	世帯数	人口			世帯数	人口			世帯数	人口		
		総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女
御幸町1丁目	162	481	221	260	148	423	191	232	△14	△58	△30	△28
2丁目	398	1,083	537	546	402	1,002	486	516	4	△81	△51	△30
住吉町 2丁目	302	762	372	390	280	725	338	387	△22	△37	△34	△3
3丁目	355	907	462	445	344	837	427	410	△11	△70	△35	△35
4丁目	355	973	461	512	480	1,345	633	712	125	372	172	200
5丁目	204	614	274	340	267	731	328	403	63	117	54	63
富塚町1丁目	473	1,362	657	705	572	1,509	727	782	99	147	70	77
2丁目	314	1,002	484	518	347	1,040	511	529	33	38	27	11
3丁目	92	240	123	117	94	225	110	115	2	△15	△13	△2
弓越	46	113	62	51	50	124	68	56	4	11	6	5
奥山新保	1	1	1	0	6	6	0	6	5	5	△1	6
富塚	0	0	0	0	1	18	1	17	1	18	1	17
	2,702	7,538	3,654	3,884	2,991	7,985	3,820	4,165	289	447	166	281

(単位：人)

区分	男	女	計
0～4	197	200	397
5～9	187	231	418
10～14	182	209	391
15～19	202	176	378
20～24	173	167	340
25～29	208	243	451
30～34	283	275	558
35～39	355	327	682
40～44	265	282	547
45～49	220	233	453
50～54	218	222	440
55～59	250	285	535
60～64	332	365	697
65～69	238	272	510
70～74	177	213	390
75～79	155	184	339
80～84	110	153	263
85歳以上	40	107	147
年齢不詳	28	21	49
総数	3,820	4,165	7,985

65歳以上 (単位：人)			
65～69	238	272	510
70～74	177	213	390
75～79	155	184	339
80～84	110	153	263
85歳以上	40	107	147
総数	720	929	1,649

高齢化率 20.70%

<参考>

新発田市

国勢調査

年次別高齢化率（昭和55年～平成22年）

新発田市（H12年以前の数値は、新発田市、豊浦町、紫雲寺町、加治川村の合算値）

	総数 (人)	年少人口 15歳未満 (人)	生産年齢人口 15～64歳 (人)	老年人口 65歳以上 (人)	年齢不詳 (人)	高齢化率 (%)
昭和55年	102,134	22,162	68,401	11,561	10	11.3
60年	103,552	21,591	68,534	13,407	20	12.9
平成2年	104,499	19,934	68,610	15,932	23	15.2
7年	106,563	18,224	68,806	19,526	7	18.3
12年	106,016	16,266	66,977	22,753	20	21.5
17年	104,634	14,201	65,114	25,318	1	24.2
22年	101,202	12,545	61,747	26,574	336	26.3

※高齢化率は総人口に占める65歳以上人口の割合

※データは住吉地区外一部を含む

(3) 生活関連施設等

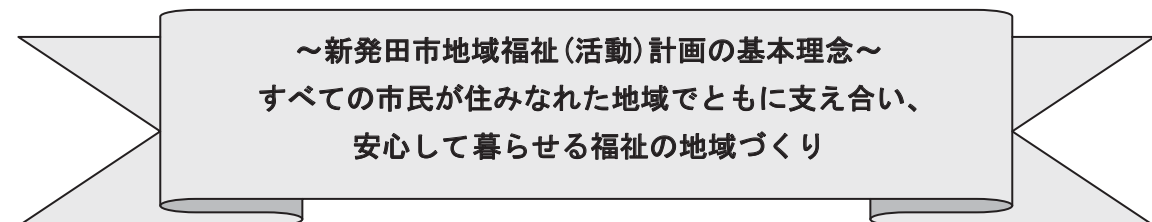
- ◆ コミュニティ拠点
 - ・住吉コミュニティセンター
 - ・隣保館
 - ・生活地域ふれあいルーム
- ◆ 子育て支援
 - ・ほのぼの家族
(子育て支援センター・子どもデイサービス、
障害児放課後デイサービス)
- ◆ 教育施設
 - ・住吉小学校
 - ・猿橋中学校
- ◆ 保育施設
 - ・あそびの森すみよし保育園
 - ・優の森保育園
- ◆ 福祉・介護
医療施設
 - ・グループホーム スクラム スマイル4 スマイル5
 - ・居宅介護支援センター 下越総合開発センター
 - ・訪問介護サービス ニチイケアセンター新発田
 - ・通所介護サービス ケアパートナー新発田
 - ・新発田西サービスセンター
 - ・ニチイケアセンター新発田
 - ・包括支援センター 新発田中央地域包括支援センター
(担当地域)
 - ・医療機関 片桐医院
たかはし脳外科皮フ科医院
若桑クリニック
すずき医院
関耳鼻科クリニック
大平歯科医院 キフネ歯科医院
星野歯科医院
- ◆ 商業施設
 - ・ウオロク イオンモール
原信 ユニクロ サンキ ドラッグストア など
- ◆ その他
 - ・下町交番 (担当地区)

《参考資料》

新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念と体系

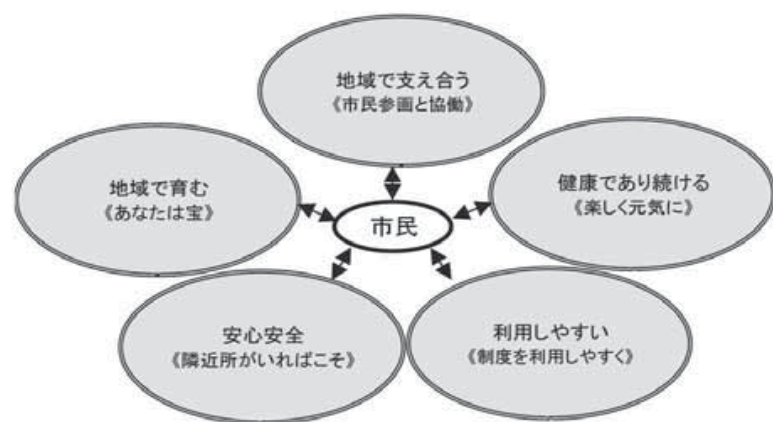
1 基本理念

新発田市に暮らす子どもや若者から高齢者までの誰もが、新発田市の歴史と風土を大切に、新発田市民であることを誇りに思う新たな福祉の地域づくりをめざし、新発田市地域福祉（活動）計画の基本理念を次のものとします。



※「出来るものならば、ずっと育ってきた地域で自立して生きていきたい。」 だれもが望む幸せとは、このような当たり前のことではないでしょうか。

地域福祉（活動）計画は、顔の見える一定の地域を面として、「地域の市民力」「地域の資源力」「行政力」という3つの力を活かし、地域に住んでいる住民や地域で活動している民間団体や事業所が、社会生活を送るうえでお互いに支え合うというわかりやすい仕組みを、行政との協働により住民自ら創り、自ら地域の実態に即した活動を展開するためのものです。そのためには、「地域のことは地域で」（下図参照）を基本として、地域に暮らす誰もが笑顔の中に生まれ、自分らしく健康で自立した生活を送り、生きること喜びを見出していける地域社会の実現を目指します。



新発田市地域福祉（活動）計画は、地域福祉をより効果的に推進するため、市が策定する「地域福祉計画」と社会福祉協議会が住民とともに策定する「地域福祉活動計画」を一体化して策定したものです。新発田市のホームページに掲載されています。

問合せ先：新発田市社会福祉課 新発田市社会福祉協議会

2 計画の体系

新発田市は、以下の基本理念に基づき、それぞれの重点課題に基づいて、施策を実施しながら計画の推進に取り組んでいきます。

